

# アテモヤ「アフリカンプライド」の収穫適期及び果皮褐変を軽減する追熟温度

開花後170日収穫の果実の果実重は重く、150～170日に収穫し、15℃で追熟させると、糖酸比は高く、果皮褐変程度を抑制できる

## 背景・目的

- ・アテモヤは収穫後に追熟が必要な果樹で、収穫が遅れると落果するため収穫適期の判断が難しい。
- ・果実の追熟過程で、果皮表面が褐変し、外観を損なう事例が発生
- ・受粉から収穫までの開花後日数と、追熟温度の違いから果皮褐変の軽減技術を開発

## 成果の内容

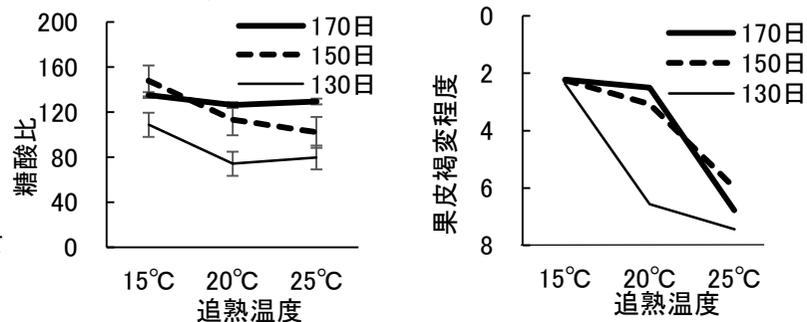
- ・開花後170日に収穫した果実の果実重は重い
- ・開花後150日、170日に収穫し、15℃で追熟させた果実の糖酸比は高く、果皮褐変程度を抑制できる。

### ○生育日数別の果実品質

開花後日数	果実重 (g/個)	追熟日数 (日)	糖度 (° Brix)	酸含量 (g/100ml)
130日	264 b	10.7 b	17.6 b	0.21 b
150日	295 b	8.0 a	20.2 a	0.17 a
170日	402 a	7.7 a	20.9 a	0.16 a
有意性	**	**	**	**

・異なる英小文字間は、Tukeyの多重比較検定において5%水準で有意差あり  
 ・令和3年～4年産の2か年の平均値

### ○追熟温度と糖酸比及び果皮褐変程度の関係



### ○追熟温度の違いによるアテモヤの果皮褐変程度



果皮褐変程度は果皮表面における褐変の割合で0(無)～10(多)の11段階に分けて調査

## 期待される効果

商品性の高い果実収穫



追熟15℃で果皮褐変軽減



商品性の高い果実の安定出荷

○普及対象・範囲 アテモヤ生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
 果樹・花き部特産果樹研究室